タモノデアツタ。尋常葉ノ一部ガ直チニ導片トナリ、他ノ導片ガ調整ヲ受クル事及ビ事 片ガ托葉ヲ遺存スル事ノ點ニ於テ導片ノ原始型トシテ著シイノデコ、ニ揚ゲタ次第デア ル。(昭和19年7月記)

〇ななめのき及ビくろがねもちノ語源 (前川文夫)

白井光太郎博士、樹木和名考ニハ記事アレド語源ニ觸レズ、牧野先生へ後者ニ對シソノ枝が黑色ヲ帶ブル故ナラムト記サレタ。本草鏡ニハ『一種くろがねもち一名ふなみの木、葉さかきノ葉ニ似テ小園ニシテ厚ク色濃』トイヒ、本草綱目啓蒙補遺ニ『くろがねもち三種、一種ハ實甚ダ多キモノアリ、筑前なのみ、肥前にはなのみ、一種、葉先ノ尖ルモノアリ、はのみ、又なのめ』トアル様ニ兩者ヲ稍混淆スル。コノコトハ Ilex ノ各種ハ外觀ノ類似點多キヲ示シ、從ツテ又果實ノ長短ヤ葉色ノ變化等デ區別ヲ見出サウトシタ事モ考ヘラレル。ソコデななめのきハななみのき=ながみのき=長實の木デくろがねもちゃもち=比シテ長珠ノ實ノ成ルコトカラ名が出來、くろがねもちゃもち=較ペテ葉が乾ケバ黑褐色トナリ鑯ヲ聡想サセル色ニナルノニョルカト思フ。

ななめのきハ西日本殊=九州=多イガ、揚子江流域=モ相當=多イ。山地ヨリモ寧ロ ・人家聚落ノ周邊=可成ノ大木=成ツテ居ルノガ普通デ冬青或ハ凍青(Tonzin)ト云フ。 10-11 月=ハ橢圓體ノ果ハ黄色、12 月-2 月=ハ紅化シテ朱玉累々トナリ、葉ノ絲ハ 冴エテ冬青ノ名ガ如何=モフサハシク見エタ。4月=ナルト紅色衰ヘテ褐色トナル。 (昭和19年8月記)

〇句ノ受ケトリ方 (前川文夫)

ョク知ラレテ居ルあづさ、ねこしでノ枝ヲ切ッタ時、或ハレらたまのきノ果實等ノサリチル酸エステルノ匂ハ薬サロメチールノ匂デアッテ、私共ニハ芳香ノ部ニ入レテ差支へナイト思フ。シカルニコノあづさニよぐそみねばりノ名ガ廣ク通用シテ居テ夜糞峰榛トナルガ、コノ糞臭ト受ケトル匂ガ別ノ個所ニアルナラ話ハワカルガ、ソウイフトコロモナイイデサロメチールノ匂ヲ糞臭トシテ受ケトッタ時代ガアツタト考へナクテハナラナイ。コレハ私共ニハ解セナイ處デアツタ。レコロガ昭和 20 年夏ニ宮城縣川渡ニ行ツタ時、同縣古川町ノ知人カラ次ノ經驗談ヲ聞イテナルホドトワカツタノデアル。數年前古川町ノ中學校デ運動會ガアツタトキアル選手ガサロメチールヲ手足ニスリ込ンダトコロ、側ニ居ター老婆ガ急ニもぐらガ屁ヲセツタ、臭イカラモウカへロウトイツテカへツテシマツタノヲ見且ツ聞イタトイフノデアル。あづさヲ用ヒテノ直接證明デハナイケレドモ匂ノ受ケトリ方ガ時代ト共ニ甚ダシクカハルトイフコト、匂ノ表現ニハ絕對ノ尺度ガナクテ當事者ノ經験ト感覺トカラ割り出サレタ他ノモノトノ類似トイフ點デノミ表現サレルコトヲ考ヘルト語源ニ織り込マレタ匂ハコレ又難問題ヲ提供スルコトニナル。